

よのこゝろ! 本校の先輩達

画家・伊勢英子氏 との出逢いから

本校の図書室には、幻想的な素晴らしい一枚の絵が飾られています。それは、平成22年5月『麦のうた』というタイトルで、画家・伊勢英子さんから本校の子ども達へ贈られた作品なのです。

伊勢英子さんは、数々の著名な賞を受賞されている国内はもとより世界的に活躍されている画家のおひとりです。寄贈された作品『麦のうた』誕生には、伊勢英子さんと荘原小学校の子ども達との出逢いがあるのです。

平成17年度は、斐川町合併50周年を記念して、11月3日の記念式典をはじめ、文化・スポーツ記念大会やコンサート、荒神谷博物館開館セレモニーの開催等、様々なイベントが開催された年でした。そのイベントのひとつに、斐川町立図書館を会場にした伊勢英子原画展がありました。そして平成18年3月10日には、伊勢英子さんが荘原小学校児童に、教科書教材「海のいのち」や「1000の風、1000のチェロ」の挿画を描くまでのエピソードを添えながら、自身の目や体で実際に感じて絵を描くことの大切さについて子ども達に語りかけていただきました。さらに13日には、5年生児童を対象に絵画指導が行われました。当日は限られた時間でしたので、後日できあがった作品写真や児童の手紙を伊勢さんへ届けると、とても喜んでいただいたようでした。

伊勢さんは、子ども達との出逢いを、手紙の中で次のように綴っていらっしゃいます。「あの雪の降る寒い体育館で、子どもたちと絵を描いてから何度春を過ごしてしまったことでしょうか。…(中略)…あの時の楽しさ、子どもたちの生き生きとした様子、おもしろい発言、忘れられません。また、その後、先生たちのご指導で絵本化され、ひとりひとりが違う物語を構成できる力をもっていることに驚かされました。…(中略)…タイトルは『麦のうた』です。子どもたちのひとりひとりが絵から、色彩からそれぞれの音楽を聞き、感じとっていただけたらそれが私の大きな喜びです。」



【▲伊勢英子講演会・町広報H18.4月号表紙】

これまで、『麦のうた』は校長室に掲げてありましたが、一人でも多くの子ども達の目に触れさせたいため、本年度から図書室に掲げることにしました。「いせひでこ図書コーナー」とともに大切にしていきたいと思います。この出逢いを作っていただいた多くの関係者の方々の熱意とご努力にあらためて感謝します。